

## 式 辞

権現堂堤の桜も葉桜に変わり、校庭の木々も新緑に輝く生命の躍動を感じる季節となりました。平成30年度の入学式・始業式が、幸手市長 渡辺邦夫様をはじめ、多くのご来賓の方々にご多用の中ご臨席を賜り、挙行できますことに深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、2, 3年生の皆さん、進級おめでとうございます。今年度、幸手中学校で学ぶ皆さんは、163名の新入生を迎えて、合計530名です。

幸手中学校には、校是「全力は美なり」があります。これは、何事にも全力で取り組む姿は美しいものである という意味です。

義務教育の最終段階を迎えた皆さんは、自分の進路について考える時期となりました。人生は、80年以上と先は長いですが、中学校生活の三年間で自分の生きる方向を見出します。この長い人生を社会から認められ、自分で納得がいくように生きるためには、自己実現を目指して中学校生活を送ることが大切です。

自己実現とはどんなことか考えてみましょう。やがてみなさんは、高等学校へ進学し、そこで学んだことを生かして就職します。また、さらに自分の能力を高めるために大学へと進む人もいます。いずれにしても、皆さんはやがて職業に就きます。この社会に生まれて生きていく皆さんの使命は、いつかは職業の選択をして、社会のために働くことです。そこで、教育に深い見識のある地球物理学者の竹内均先生は、自己実現とはどういうことなのか、次のように話していました。

一つには、自分の好きなことや得意なことが仕事や職業に生かしていること

二つ目は、その仕事である程度満足できる収入が得られ生活ができること

三つ目は、その仕事が社会のため、人類のために役立っていること だそうです。目の三つのことがかなったとき、私たちは自己実現ができたと言っていいでしょう。

私たち人間は、その時々、自分を見つめ、自分を知り、日々の生活を振り返りながら「自分とは何か。」「自分には、どんなことができるか。」「今のままの自分でいいのか」と自分の可能性を求めながら、様々な体験を積み重ねて成長していきます。この幸手中学校で学ぶすべてのことが、皆さんの将来に大きな影響を与え、役に立っていきます。教科の学習、さまざまな行事、部活動で鍛える体と心、友達と過ごす中学校生活は、喜びと感動の連続です。時には苦しいこともあります。辛くてくじけそうになる時もあるでしょう。その時、本校の校是である「全力は美なり」を心の中で叫んでください。そして、自分の持っているすべての力を全力で出し切ってください。その時々壁を一つ一つ乗り越えた喜びは、格別なものでしょう。その喜びを皆で分かち合うことで、共に成長の喜びを味わっていくのです。

保護者の皆さま、お子様のご入学おめでとうございます。小学校六年間の課程を修了し、中学生となったお子様の姿を見て、わが子の成長をお喜びのことと思います。この幸手中学校の三年間は、子供たちの成長にとってとても密度の濃いものです。心身ともに最も成長する時期です。親の役割とは何か、それは子供を見守る広い心と深い愛情に満ちた温かいまなざしです。学校と家庭が手を取り合い、信頼し合ってお子様の成長を支えていきましょう。この幸手中学校の教職員一同、微力ではありますが一つになってお子様の成長の支援をしてまいります。よろしく願いいたします。

最後になりましたが、子供たちの成長を共に喜ぶとともに、ここにご臨席の皆様のみますのご発展を祈念して式辞といたします。

平成30年4月9日

幸手市立幸手中学校長 高野 治